

高卒県外受求人人数728人と低調！

— 県内求人人数617人と増加 —

県外受求人人数は、9月末現在で対前年比9.3ポイント減少の728人と昨年(803人)を下回りました。(下表県計参照)

これは、東日本大震災等による影響が未だ収束せず、企業の先行き不透明感等から求人提出が慎重になっているものとされます。一方、県内求人人数は、対前年比25.2ポイント増加の617人と昨年(493人)を上回りました。医療、福祉と飲食店、宿泊業が好調で県内求人数を押しあげた格好となっています。

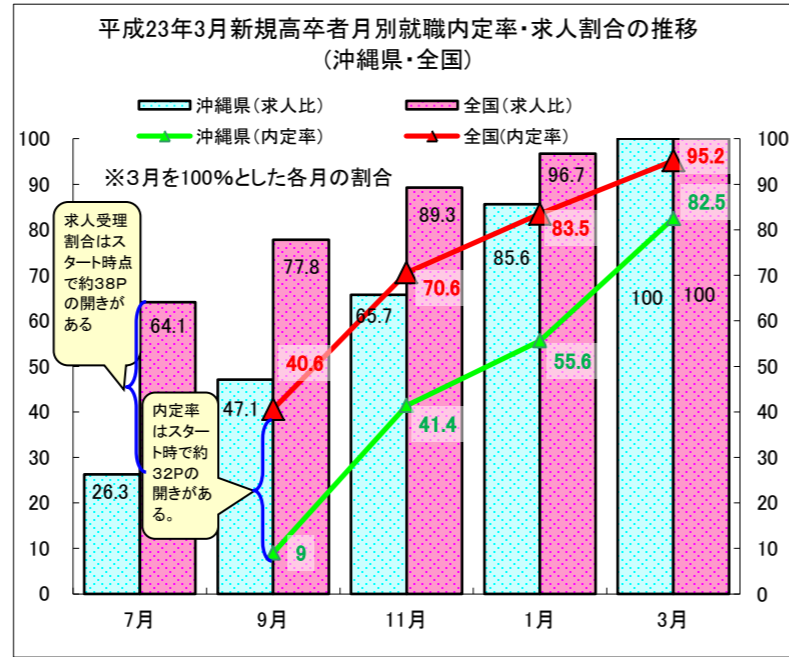
そのため、県内、県外求人合わせて対前年比3.8ポイント増の1,345人と昨年(1,296人)を僅かながら上回りました。

就職内定率7.6%と昨年より減少！

— 内定率、内定者数ともに減少 —

9月16日から全国一斉に採用選考が開始され、9月末現在の就職内定率は、7.6%と昨年(9.0%)を下回りました。(下表参照)これは県内、県外の両方とも昨年を下回っています。加えて内定者数も減少に転じています。

ここで悲観することはありません。右グラフを参照すると、23年卒の求人受理割合と内定率を全国と沖縄県で比較したもので、3月末を100%とした場合の求人受理割合は、7月末で県外は既に64.1%の高い割合で求人が受理されているのに対し、沖縄県内の求人割合は26.3%と低い数値となっています。これは今後県内求人の提出が見込まれることを表しています。同じく内定率は、9月末現在で全国は40.6%と高く、反面沖縄県は9.0%と低調です。しかし、**例年右グラフの傾向にあり、今後急速に伸びていくことも見てとれることから、高校生はあきらめず粘り強い就職活動が必要となってきます。**



新規高卒者の求人・求職・就職の状況(平成23年9月末現在)沖縄県計

(沖縄労働局職業安定部資料)

項目	平成24年3月卒			平成23年3月卒			前年 同月比
	計	男	女	計	男	女	
卒業(予定)者数	16,418	8,213	8,205	16,364	8,278	8,086	—
①就職希望者数	2,363	1,319	1,044	2,263	1,234	1,029	4.4%
県内	1,587	806	781	1,529	782	747	3.8%
県外	776	513	263	734	452	282	5.7%
②求人数	1,345			1,296			3.8%
県内	613			493			25.2%
県外	728			803			▲9.3%
③就職内定者数	180	130	50	204	140	64	▲11.8%
県内	19	7	12	23	9	14	▲17.4%
県外	161	123	38	181	131	50	▲11.0%
④就職内定率	7.6	9.9	4.8	9.0	11.3	6.2	▲1.4
県内	1.2	0.9	1.5	1.5	1.2	1.9	▲0.3
県外	20.7	24.0	14.4	24.7	29.0	17.7	▲4.0
⑤求人倍率	0.26 (0.57)			0.22 (0.57)			0.04 (0.00)
県内	0.39			0.32			0.07
県外	0.97			1.09			▲0.15

1. 就職希望者数及び就職者数は、学校又は安定所の紹介を希望する生徒及び就職者である。
2. ④就職内定率(③/①)×100
3. ⑤求人倍率(②/①)。()は、県外受求人人数を含んだ数値。

★「ハローワーク那覇学卒通信」は、沖縄労働局HPでもご覧になれます。http://okirodo.go.jp/

平成24年3月新規高卒者

県内(9月29日)・県外(9月30日) 就職面接会



9月29日県内面接会
(沖縄コンベンションセンター)

平成24年3月新規高卒者県内・県外就職面接会を沖縄コンベンションで開催しました。参加されている会社のほとんどが、過去の採用実績のある会社で他に、知人の会社での評判を聞き、採用したいと思ってるなど、参加へのきっかけはさまざまです。県内の参加企業53社(昨年に比べ8社増)、高校生490人。県外参加企業82社(9社減)、高校生213人でした。面接会の日程は、昨年に比べ、早い開催となりましたが、参加した生徒数は、特に県外で昨年より80人余り少なくなりました。これは、大震災の影響が未だ収束せず、県外就職に生徒、保護者が不安を拭ききれないことが要因だと思われます。「面接者が少ない」、「進路決定が遅れている生徒が多いのでは?」と県内・県外の企業さんからは、複数の意見があり、応募のチャンスがありながら、活かさないことに残念に思う企業さんが多いようです。面接会が終わり、生徒の皆さんには、次へどう踏み出すのか、これからの行動が大切です。リアルな面接を体験し、戸惑っている生徒さん、面接会に参加せず、まだ迷っている学生さん、**体験して、繰り返ししていく**中で、徐々に進路は決まります。ハローワークでは、引き続き、学校と連携し、生徒の皆さんをサポートしていきます。一緒にがんばりましょう。

内定者数204人(うち県内98人・県外106人)

[10月末現在 暫定]

◆9月29日	◆9月30日
県内 参加社 53社 (昨年 45社)	県内 参加社 82社 (昨年 91社)
高校生 491人 (昨年 490人)	高校生 213人 (昨年 301人)



◆次回面接会のお知らせ◆ 1/26県内就職面接会 対象者/新規学卒者(高校・大学等)

那覇公共職業安定所 学卒部門
ハローワーク那覇学卒通信 第4号 平成23年11月

★県内・県外就職面接会(9月)開催状況 ★次回面接会お知らせ
★求職者支援制度について ★学校紹介(浦添工業高等学校)
★先輩に聞く(沖水卒・伊集若菜さん) ★面接会アンケート集計
★新規高卒者の求人・求職・就職状況(9月)沖縄県計

先輩に聞く！ 理容師・美容師資格を目指す！



東京で研修中の伊集若菜さん
沖縄水産H23年卒

今春、沖縄水産高校を卒業した伊集若菜さんは、4月より浦添市のヘアサロンフェリーチェで理容師(美容師)を目指して働いています。3ヶ月間東京での研修を修了して、現在は職場の先輩から、理美容の技術や、接客など教えて頂いているとのこと。将来は自分のお店を持ちたいとの希望もあり、元気に働いてました。てきぱきとお客様へ対応される伊集さんの姿に、社会人としての成長がみられ感動しました。

伊集さんに聞いてみました。

- Q. 仕事のことで相談できる人はいますか？
A. 職場の先輩です。
Q. 今の仕事に満足していますか？
A. とても満足しています。



左:伊集若菜さん
(ヘアサロンフェリーチェにて)

Q. 採用試験を受ける時に気をつけたこと、やっておいて良かったこと。

A. 身なりを整えること。笑顔！！

Q. 資格試験はいつ受けるのですか？

A. 3年間の通信教育を終了してからです。

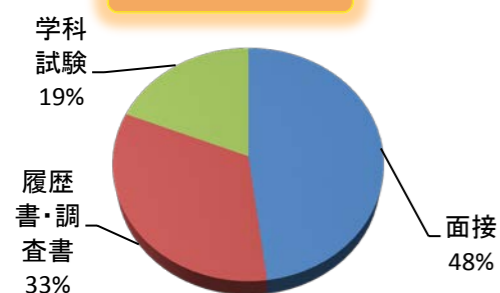
Q. 就職を希望する後輩へのメッセージを！

A. 「私は理・美容の職に就き、卒業後は東京へ3ヶ月間研修に行ってきました。厳しい研修を終え、今は理・美容師になるという夢に向かって頑張っています。同じ夢を持つ皆さん！一緒に素敵な理・美容師を目指して頑張りましょう！！」

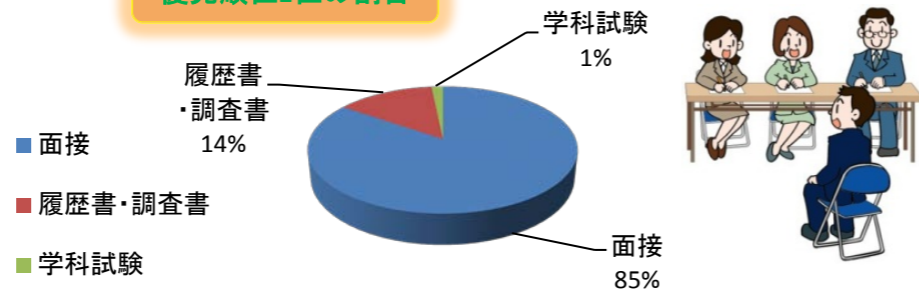
平成24年3月新規高卒者県内・県外就職面接会企業アンケート集計

県内企業アンケート提出53社【回収率94%】 県外企業アンケート提出85社【回収率96%】
優先順位1位を3点、2位を2点、3位を1点とし集計しています。その割合は1位の面接と2位の履歴書・調査書でそれ程差がないように見えます(左の円グラフ)。それが、優先順位1位の割合となると面接が圧倒的に1位となります(右の円グラフ)。
一番優先するのは、人柄・人物像だけれど、出席状況や基本的な学力は重視するということです。また、県外企業では学科試験が1位の企業も2社ありました。

優先ポイント数



優先順位1位の割合



選考で重視する点

- ・《多数》働きたいという意欲、出席状況、笑顔、明るく前向き、人物
- ・目力があるか、面接をするために面接練習だけしてきた生徒ではないかを見極めます。
- ・基本的生活習慣
- ・履歴書の丁寧さ
- ・将来社長になってやろうという気持ち
- ・県外でも不安を払いのけ、チャレンジできる人物か



高校生の求人を提出した理由

- ・伸びしろが大きいので、就業に当たって将来性に期待が持てる
- ・他社の社風に染まっていない
- ・人材の原石として、一から育成していける
- ・過去の採用実績があり、学校等協力体制ができているので
- ・県外に沖縄の子が増えれば、より沖縄のスタッフが働きやすい環境になると考えて

職業訓練・給付金についての現状

ただでもらえる生活支援給付金？

“お金をもらいながら訓練が受けられる”との情報で、夏休み以降、保護者の方から「支援給付金を受けながら訓練を受講させたい」等と、卒業後の基金訓練についての電話による問い合わせや、また直接ハローワークへ保護者の方、又は生徒本人の来所が増えています。

高卒求人の受付が徐々に減っていく中、気持ちが焦り就職活動をあきらめて訓練に応募したいと考えているかと思われます。しかし、これまでの基金訓練が終了し、この10月以降、新たに「**求職者支援制度**」がスタートし、訓練の件数が極端に減ってきています。「給付金」についても「**職業訓練受講給付金**」として、以前より支援対象者の条件等が厳しくなっているのが現状です。たとえば訓練を理由なく休むことがあれば給付が受けられなくなったりします。未就職のまま卒業する場合の最終手段として考えてみては！

※「求職者支援制度」とは

- ①求職者支援訓練・公共職業訓練が受けられます。
- ②訓練中や訓練終了後にハローワークが就職支援を行います。
- ③条件があれば「職業訓練受講給付金」(月々10万円)が受けられます。

学校紹介

浦添工業高校

職業講話開催

今回の学校紹介は浦添工業高校です。全校生徒に対する職業意識啓発に取り組んでいる進路の仲座先生に伺いました。

浦添工業高校では、全校生徒(850名)を対象に進路講演会を開催致しました。講師に那覇公共職業安定所の上原 忠所長を招き「新規学卒者の就職環境」の演題で、今の沖縄を取り巻く社会情勢、今後どのような選択が必要かを学び、進路選択に役立てることを目的とし開催しました。沖縄県の就職環境の厳しさ、高卒、専門学校卒、大学卒のそれぞれの課題についてデータ駆使しての詳細な分析がなされ、わかりやすい説明で、就活中の3年生のみならず、1・2年生にとっても職業意識を喚起する有意義な時間となりました。

進路指導の取組み

浦添工業高校進路指導部は11名のスタッフで、三年担任をサポートし生徒の進路決定のために各種講座(英数国、小論文、履歴書の記入講座、面接指導、マナー講座)を行い就職内定率向上に向け奮闘しています。

求人開拓については、夏休み期間を利用しての校長を始めとした職員、ジョブコーディネーターによる会社訪問、県外希望者の求人は県外就職開拓員への依頼により生徒の就活を後押ししています。

生徒も自分の将来を見据え進路指導部に訪れ、資料の収集や履歴書の記入添削、面接指導を積極的に受け徐々にその成果が表れてきています。



今月の目標

就職活動も後半戦 立ち止まらず チャレンジあるのみ